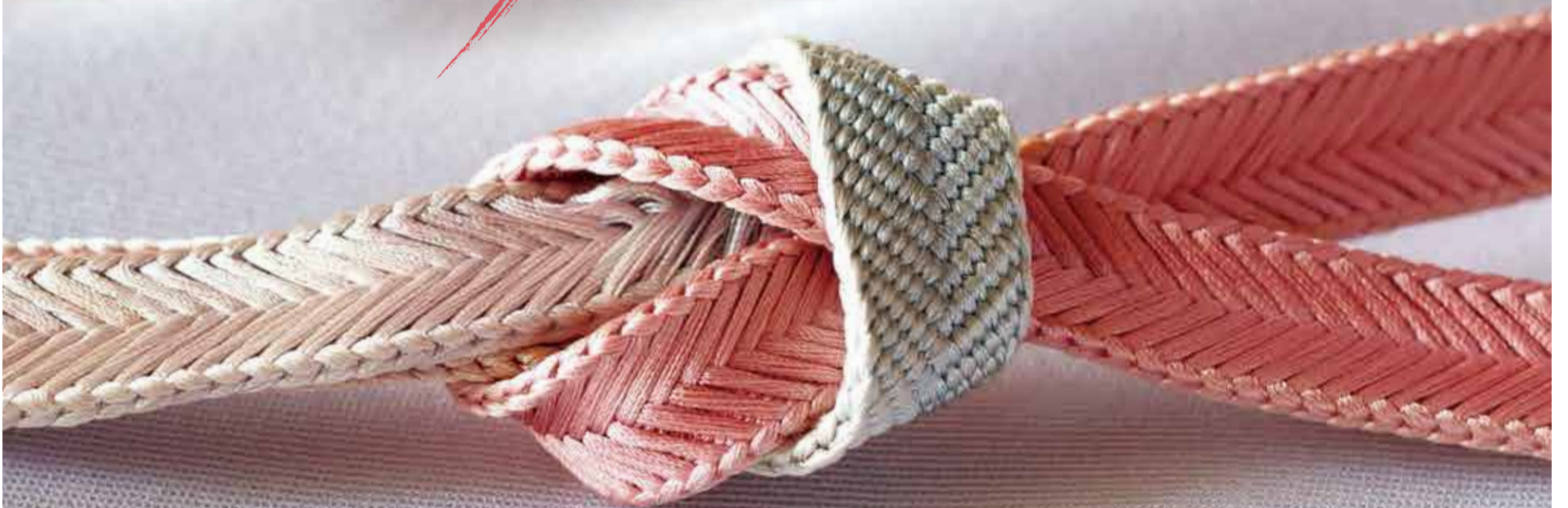


あおもり



CONTENTS | 目次

特集 ▶ P2-5

人幸増加大作戦

～平成30年度 未来へ架けるチャレンジ～

旬を食べよう。あおもり食材で簡単ヘルシークッキング／

青森さらいイッピン 私が出会った青森のイッピン ▶P6

青森の未来に全力! 県職員最前線レポート

『世界へ発信! 十和田湖・奥入瀬溪流の魅力』／

山火事に注意しましょう! ～小さな火 大きな森を 破壊する～／

平成30年10月1日から青森県の乳幼児はつらつ育成事業を拡充します ▶P7

申吾のほっとコラム／あおもりインフォメーション ▶P8



津軽のわら細工の 編み方を応用した 「津軽組ひも」

色とりどりの絹糸を組み上げて作る「組ひも」。伸縮性に富み、結び目がほどけにくい実用性と装飾性を兼ね備えているのが特徴です。そのため、奈良時代には仏具や経典の飾りなどに使われ、その後、歴史の移り変わりとともに、武具、甲冑、茶道具、着物の帯締めなど、さまざまに用途を変えながら日本人の暮らしに寄り添ってきました。

「津軽組ひも」は、五所川原市の川口良子さんが、幼い頃、祖父が編んでいたわら細工の編み方を応用して制作を始めました。絹糸にりんご染めや藍染を施して組んだ帯締めは、青森の風土を感じさせてくれる優しい色合いで、首都圏でも人気を呼んでいます。

平成17年、「全国職人の集いin弘前」に出展した際、放送タレントの故・永六輔さんから背中を押してもらったことがきっかけで、川口さんはさらに研鑽を重ね、平成21年には県の伝統工芸品に指定されました。

結び方によって、ブローチやキーホルダーなど、カジュアルな小物にアレンジできる多様性も魅力。平成29年には、「津軽組ひも」がJR東日本の豪華クルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」の制服の紋章に採用され、話題を呼びました。毎年6月には、五所川原市の「金木公民館」で展示即売会を開催しており、「津軽組ひも」の多彩な魅力に触れることができます。

▼関連記事はP6で

人幸増加大作戦

安心して子どもを
産み育てやすい
地域になったらいいな

たくさんの人が
訪れてくれたらいいな



県内で働いて
家族や仲の良い友達と
過ごしたいな

産まれ育った
場所だから
このまま残したいな

【人幸増加大作戦①】 人口減少克服プロジェクト

誰もが「住みたくなる」
「訪れたくなる」青森県を
めざします

皆さんのたくさんの
「幸せ」のために。

人口減少の克服は、私たち青森県民にとって
最も大きな課題です。

人口が減少していく中で、皆さんの暮らしは
どうなっていくのか。

大切なのは、県民の皆さん一人ひとりが
感じる幸せ＝「人幸」を増やしていくこ
とだと考えます。

合言葉は「人幸増加大作戦」。

皆さんが、「青森県に生まれて良かった」と思え
る青森県をつくっていくための、3つのプロジェ
クトの成果と今年度の主な取組をご紹介します。

体に良い食事と運動で
みんなが健康に
暮らせたらいいな



みんなが
元気で長生きできたら
いいな

身近に安心できる
医療や保健サービスが
あるといいな

【人幸増加大作戦②】 健康長寿県プロジェクト

みんなが元気で長生きできる
青森県をめざします

青森のおいしいものを
たくさんの人に
知ってほしいな

Delicious!



自然に恵まれた
青森だからこそその
安全・安心な食べ物を
どんどんつくって
ほしいな

【人幸増加大作戦③】 食でとことんプロジェクト

県産品を県外・海外に売り込んで
「食と言えば青森県」をめざします

人幸増加大作戦!

【人幸増大大作戦①】人口減少克服プロジェクト



誰もが「住みたくなる」 「訪れたくなる」 青森県をめざします

これからも、皆さんが安心して青森県で暮らせるように、若い人たちが県内で暮らしていくために必要な魅力あるしごとづくり、子育て女性の就職応援、県内へ移住を希望する人への支援、子どもを産み育てやすい環境づくり、県外・海外から大勢の観光客の方々に青森県を訪れてもらうための取組などを進めます。

さまざまな国・地域からの
外国人観光客が増えました!
外国人延べ宿泊者数
過去最高 **23万9,150人**
(H29年速報値)

夢(創業・起業)に
挑戦する人が増えました!
創業支援拠点を利用した創業者の数 **H25年度 43件 → H29年度 113件**
(H30年1月時点)

首都圏にある移住相談窓口での
移住相談が増えました!
H27年度 254件 → H29年度 585件
(H29年12月時点)



女性が一生で出産する子どもの人数
4年連続で上昇しています!
合計特殊出生率 **H24年 1.36人 → H28年 1.48人**



24ヶ月連続!
**有効求人倍率が
1倍を超えました!**
(H29年12月時点)

【1】例えば、こういうことに力を入れていきます。

- ◎高校生や大学生など若い人たちが、県内企業の情報や青森暮らしの魅力を知ることができるようなプロモーションを行います。
- ◎県外に住んでいる方が、移住先としての青森県の魅力に触れられるイベントや情報発信を首都圏などで行います。
- ◎「お店を持ちたい」「ビジネスを始めたい」
そういう人たちが夢を実現できるようにサポートしていきます。
- ◎県内外の女子学生や若手女性社員へのキャリアプランニング、子育て中の女性の再就職を応援します。
- ◎結婚を希望する方へのさまざまな支援や妊娠期から育児期にわたる母子へのサポートなど、結婚・妊娠・出産・子育てを応援します。

詳しくは、県庁HPの特設ページ「人幸増大大作戦 展開中!」をご覧ください。 県庁HP [人幸増大大作戦](#)



イラストレーター
柿崎 こうこ

Photo: Asako Shimizu

イラストレーター。青森生まれ。食をはじめ、旅、美容、健康などライフスタイルをテーマとしたイラストが人気。雑誌、広告、書籍などを中心に活躍中。
柿崎こうこ HP「ビューティセブン」/ <https://www.kakizakikoko.com>
Instagram koko_kakizaki_illustration 器や金継ぎなど趣味のInstagram koko_kakizaki

4月 人幸増大大作戦～平成30年度 未来へ架けるチャレンジ～ 関連番組 放送予定 青森放送「大好き、青森県。」4月22日(日) 17:00～17:15

特集ページ問い合わせ先 P.2～4 人幸増大大作戦/企画調整課 電話 017-734-9129 P.5 地域県民局の取組/東青地域県民局地域連携部 電話 017-734-9412(地域支援チーム)・中津地域県民局地域連携部 電話 0172-32-2407(地域支援チーム)・三八地域県民局地域連携部 電話 0178-27-3936(地域支援チーム)・西北地域県民局地域連携部 電話 0173-34-2175(地域支援チーム)・上北地域県民局地域連携部 電話 0176-22-8194(地域支援チーム)・下北地域県民局地域連携部 電話 0175-22-1195(地域支援チーム)

【人幸増加大作戦②】健康長寿県プロジェクト

みんなが元気で 長生きできる 青森県をめざします

青森県の平均寿命は、全国よりも短いものの、着実に延びています。短命県の返上をめざそうという動きが県内各地で始まり、健康への意識がとて高くなってきています。県民の皆さんが、元気で長生きできるよう、働き盛り世代の健康づくり、塩分の摂りすぎを防ぐための「だし活」など生活習慣の改善、女性を対象としたがん検診体制の強化などの取組を進めます。

手軽な減塩生活が
身近になりました!

県産食材を使った「だし活」商品の出荷数

累計 **20** 万個突破
(H29年12月末現在)

地域資源を活用した商品が
かなり売れています!

注目の健康美容成分「プロテオグリカン」配合商品

累計製造出荷額
24億円→**145**億円に!
(H25年8月時点) (H29年3月時点)



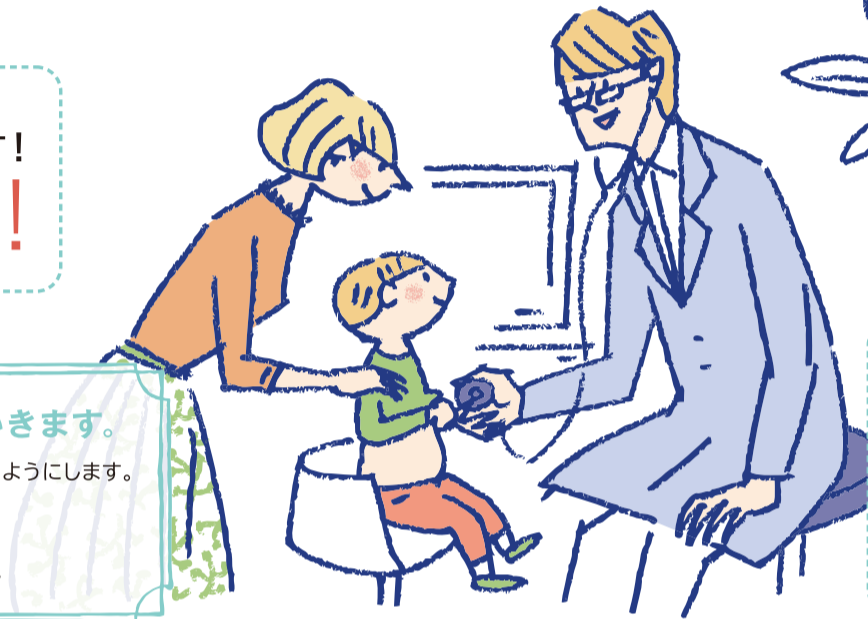
全国の平均寿命よりもまだ短いけれども

平均寿命が着実に延びています!

前回からの
伸び幅(男性) **全国3位!**

【2】例えば、こういうことに力を入れていきます。

- ◎女性特有のがん検診を自分が住む市町村以外でも受診できるようにします。がん患者やその家族が相談しやすい体制をつくります。
- ◎野菜や果物を食べる、塩分を減らすなど、生活習慣病を防ぐための食生活改善キャンペーンを行います。



医者の卵(医学部)
合格者が
増加しました!

本県出身医学部合格者数5年連続の

80人超え!
(H29年度86人)

【人幸増加大作戦③】食でとことんプロジェクト

県産品を県外・海外に売り込んで 「食といえば青森県」を めざします

あおり米「青天の霹靂」が
食味ランキング4年連続
最高の「特A」評価を
いただきました!

(参考品種を含む。H26年産～H29年産)

米、果物、野菜、新鮮な魚介類など、青森県のおいしくて、安全・安心な県産品は、県外・海外で高く評価されています。私たちの自慢の青森県産品をさらに売り込んでいくため、「青天の霹靂」などの県産品ブランドの確立、県外・海外の販路の拡大、農産物の一層の安全・安心の確保などの取組を進めます。

青森県のりんごやホタテなどの
農林水産品の輸出額が
過去最高になりました!

H25年 **175**億円 → H28年 **294**億円

「農業の売上げ」とも言える
「農業産出額」が

2年連続 **3,000**億円を
超えました!

東北では **13**年連続・第**1**位
(H28年度:3,221億円)

【3】例えば、こういうことに力を入れていきます。

- ◎よりおいしい「青天の霹靂」の生産や、「つがるロマン」より栽培しやすく、味のよい新品種の導入をめざします。
- ◎新流通サービス「A!Premium」(エー・プレミアム)を使い、西日本や海外市場での販路を拡大し、県産品をどんどん売り込みます。

農業を
はじめる人が
増えました!

平成24年
以降毎年 **200**人以上!
(H28年度:246人)



6地域県民局で取り組む「人幸増加大作戦」

県内6地域県民局でも、地域の強みをとことん伸ばし、課題をチャンスと捉え、さまざまな取組にチャレンジしていきます。

東青地域の地域づくりを支援

[東青地域県民局]

東青地域では、今後とも人口減少及び高齢化が一層進むと見込まれる中で、地域の「自然、歴史・文化、食」を生かした活動に取り組む、地域づくりを牽引しようとしている団体等があり、将来に向けた地域づくり活動の継続と発展が課題となっています。



このため、地域の担い手の広域的な連携に向けた研究会やワークショップを開催し、地域づくり団体がお互いに補完し合う仕組みづくりや、効果的な情報発信等に取り組めます。

中南津軽の「うるしの森づくり」推進

[中南地域県民局]

中南地域では、将来的に国重要無形文化財の津軽塗や神社・仏閣等の修理に使用される国産漆の安定供給が危惧されることから、漆資源の確保が課題となっています。

そこで、漆資源の現状や需給状況の情報共有等を目的とした県や弘前市、森林組合などによる連絡会議を設置するほか、優良な苗木の選抜や生産技術の確立、森林所有者向けの津軽漆体験ツアーの開催などにより漆の安定供給に向けた「うるしの森づくり」を進めます。



三八地域の「しごと」と「暮らし」を情報発信

[三八地域県民局]

三八地域では、ものづくり企業が集積していますが、就職や進学時に多くの若者が県外へ出ていくため、地元企業の人財確保が難しくなっています。地元就職を選択肢の一つに入れてもらうには、生徒・学生に企業の魅力や地元での暮らしやすさを伝え、理解してもらうことが大切です。



そこで、生徒・学生自らが企業の魅力や地元での暮らしやすさを調査し、若者の視点で、三八地域の「しごと」と「暮らし」をまとめ、情報発信する取組を進めます。

※県では、「人は青森県にとっての「財」(たから)である」という基本的考えから、「人」「人材」などを「人財」と表しています。

ぶどう「シャインマスカット」産地づくり

[西北地域県民局]

西北地域では、上品な甘みと香りが特徴の「シャインマスカット」の栽培が徐々に増えていますが、収穫量の増加とともに管理作業の手間も増えていくことから、省力化技術の確立が必要です。



そこで、高品質を維持したまま省力化する技術を開発しマニュアルを作成するほか、米やりんごを栽培する生産者に「シャインマスカット」を導入してもらうための経営モデルを作成するなどして、産地づくりに取り組めます。

十和田湖奥入瀬地域のインバウンド誘客促進

[上北地域県民局]

上北地域では、十和田湖奥入瀬地域への外国人観光客の誘客促進を目指し、関係者が取組を進めていますが、多くの方に来ていただくための観光コンテンツの開発など誘客に向けた仕掛けづくりが課題となっています。



そこで、主に台湾人旅行者をターゲットとし、アドバイザー派遣や旅行エージェント現地視察会の実施、その後の評価分析等により、地域の観光資源を生かした新たな魅力づくりに取り組めます。

下北地域の魅力向上による観光滞在時間の拡大

[下北地域県民局]

下北地域では、北海道新幹線の開業後は観光客数が増加傾向にありますが、宿泊者数は伸び悩んでおり、下北地域を訪れた観光客の方々に、より長く滞在していただくことが課題となっています。

そこで、体験型の観光メニューづくりなどを通じて、下北地域に多い民宿の観光利用を促すほか、接客対応マニュアルを作成するなど外国人観光客の受入環境を整備します。また、下北の魅力をもPRする動画を作成して国内外への情報発信に取り組めます。

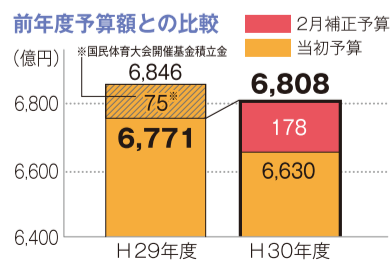


平成30年度一般会計当初予算は6,630億円(対前年度比3.2%減) 一体編成した平成29年度2月補正予算と合わせた「実行」予算では、6,808億円余

「青森県行財政改革大綱」に基づく財政健全化努力を継続しつつ、最終年度を迎える「青森県基本計画未来を変える挑戦」の総仕上げに向け、各種施策に総力を挙げて、取り組むこととしました。

一般会計の当初予算額は、基金積立金や貸付金、施設等整備費の当然減により3.2%の減となったものの、一体として編成した平成29年度2月補正予算と合わせると6,808億

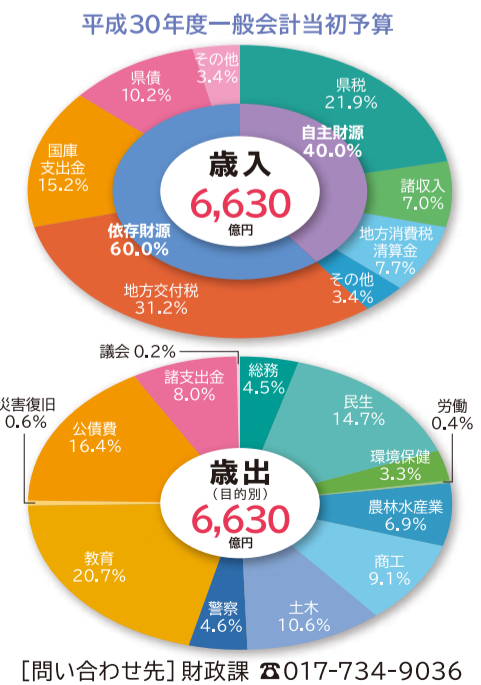
円余となり、平成29年度当初予算から国民体育大会開催基金積立金(75億円)を除いて比較すると、実質的なプラス予算となっています。



財政健全化に向けた取組

◎歳入環境が厳しい中ではあるものの、県の貯金である基金の取崩額は2年連続でゼロとなり、収支均衡を維持

◎県の借金である県債の発行総額を抑制し、県債残高は平成30年度末で1兆1,187億円となる見込み(平成29年度末見込対比314億円の減)



[問い合わせ先] 財政課 ☎017-734-9036

旬を食べよう。 あおもり食材で 簡単ヘルシークッキング

津軽海峡メバル編



高級魚として珍重
白身で淡泊なメバル



小泊漁業協同組合
メバル一本釣り部会 会長
おおた なおき
太田 直喜さん(中泊町)

中泊町小泊地域で水揚げされる「メバル」は「ウスメバル」という種類で、鮮やかなオレンジ色の魚体の特徴。潮の流れの速い津軽海峡で育ち、餌も豊富なことから肉質も良く東京築地市場でも高級魚として大変な人気です。小泊漁協では、6月～8月の期間限定で行う固定式刺網漁のほか、16名の漁師が通年で一本釣りをしています。白身でくせがなく小骨が少ないので、刺身、煮付け、塩焼きなど、どんな料理でも合います。私のおすすめは、メバルの生の魚卵にしょうゆをたらし、

これに刺身を付けて食べたり、軽く塩をして一夜干しにする食べ方です。町内の提供店では、「中泊メバルの刺身と煮付け膳」が人気。一本釣りのメバルのなかでも最大級のサイズのメバルを丸ごと使っており、刺身、炙り、煮付けなどが味わえます。ぜひ、地元を食べにきてください！



メバルの バターソーテーサラダ

【一人分のエネルギー：132kcal／塩分0.5g】

〈材料：4人分〉

- メバル …… 1尾(200g)
- 塩・こしょう …… 各少々
- 油 …… 適宜
- バター …… 5g
- 新玉ねぎ …… 100g
- 春菊 …… 50g
- アスパラガス …… 2本
- カイワレ …… 少々
- 菜の花(穂先のみ) 20g
- パプリカ(黄) …… 50g
- ラディッシュ …… 2個
- スライスアーモンド 適宜

【生姜ドレッシング】

- サラダ油 …… 大1
- 酢 …… 大1
- しょうゆ …… 小1
- 塩・こしょう …… 各少々
- 生姜すりおろし …… 小1

〈作り方〉

- ① メバルを三枚におろし、半身を2等分して塩・こしょうで下味をつける。
- ② 玉ねぎは輪切りの薄切り、ラディッシュも薄切り、パプリカは種をとり輪切りの薄切りに。カイワレは、バラしておきます。
- ③ 菜の花の穂先は、軽く塩ゆで。アスパラガスは斜めの薄切りにしてゆでる。
- ④ ①を皮を下にして焼き、ひっくり返す。
- ⑤ 全体に火が通ったらバターを絡める。
- ⑥ 器に②③を盛り、⑤のメバルと軽くローストしたスライスアーモンドを乗せ、生姜ドレッシングをかけて完成。

るみ子先生のワンポイントアドバイス

メバルの骨は、焼いたあとの方が取りやすいので、骨を取ってから盛り付けましょう。また、メバルの身は、とても柔らかいので、食べる時にメバルをくずし野菜と一緒にいただくといちだんとおいしく召し上がれます。

レシピ開発・調理/管理栄養士 福土るみ子



私が出会った 青森の イッピン

vol. 12
津軽組ひも

絹糸が結ぶ縁

大きな紙に細かく引かれたマス目、そこに小さな字で数字が書き込まれている。「綾書き」と呼ばれる組ひもを制作するための設計図の緻密さに、なんと気が遠くなる作業だろう、と驚いた。



青森県伝統工芸士の川口良子さん

今回の青森きらりイッピンでは「津軽組ひも」の制作に携わる、青森県伝統工芸士の川口良子さんにお会いした。あおもり藍やりんごの草木染めなど、淡い色から鮮やかなものまで色とりどりに染められた

絹糸を使った津軽組ひもは、帯締めなどになることが多いが、ブローチやお守り、かばんなど、組ひもの技術を使った製品は多岐にわたる。



組ひもと結びからうまれるアクセサリや小物たち

組ひもが結ぶ縁とても言ううか、最近ではJR東日本の乗務員の制服の紋章も、縁あつて川口さんが制作された。一本一本は髪の毛のように細い絹糸をぎゅっと組み込んだ組ひもが、いろんなところで縁を結ぶきっかけになるといいな、と思う。組ひもの魅力について休むことなくお話しされる、川口さんの生き生きとした表情が印象的だった。

◎ 取扱店/弘前中三・5階
☎ 0172134131

本誌題字タイトル/「青森きらりイッピン」ロゴタイトル



書家
菊池 錦子 Kinko Kikuchi

【プロフィール】
青森県弘前市出身
個展で書を発表しているほか、自身の書と写真で綴った「ゆりかごII」の出版、NHK大河ドラマ「篤姫」・「江～姫たちの戦国～」の題字をはじめ、映像・イベントなどのタイトルや社名、商品名など多方面にわたって数多くの筆文字のロゴも手掛けている。

表紙撮影/「青森きらりイッピン」取材撮影・文



カメラマン
望月 研 Ken Mochizuki

【プロフィール】
山梨県出身宮城県在住。1998年東京外国語大学ピルマ語学科卒業。NHKの番組ディレクターを経て、カメラマンに転職。アシスタントを経てフリーとなり、2012年仙台に拠点を移す。ファッション・ポートレイトをメインに、建築や料理撮影など活動の幅は広く、空間のもつ色彩やスケールを、その撮影目的の世界観で写真に定着する。

「青森きらりイッピン」
動画コンテンツを配信しています。

青森が誇る「ヒト」、「モノ」、「コト」を紹介する動画コンテンツ「青森きらりイッピン」を、YouTube、Facebookで配信しています。スマートフォン、パソコンで「青森きらりイッピン」を検索してご覧ください。「青森きらりイッピン」の紹介ホームページはこちら http://www.pref.aomori.lg.jp/koho/tv/int_kirari.html

世界へ発信! 十和田湖・奥入瀬溪流の魅力

上北地域県民局地域連携部 神 春花

取組紹介

私は、十和田湖・奥入瀬溪流を中心とした上北地域の魅力を発信する仕事に携わっています。

当県民局では、これまで、主に国内旅行者向けに、十和田湖・奥入瀬地域の持つ自然や歴史等の魅力に着目した、体験型観光コンテンツの開発・磨き上げに取り組んできました。

近年は、この地域を訪れる外国人旅行者が台湾を中心に増加してきており、また、外国人旅行者を惹きつける取組を集中的に実施する環境省「国立公園満喫プロジェクト」に十和田八幡平国立公園が選定されるなど、インバウンド(訪日外国人旅行)が盛り上がりを見せています。

そこで当県民局では、昨年度までの取組を生かして、インバウンドを対象とした観光コンテンツの開発など、誘客に向けた仕掛けづくりに力を入れていきます。

取組 世界に選ばれる十和田湖 奥入瀬ツーリズム推進事業

インバウンドを対象とした観光コンテンツ開発

自然体験に興味・関心のある台湾人旅行者を主なターゲットとして、新たな観光コンテンツの開発を行います。具体的には、台湾の旅行会社を招き、奥入瀬溪流でのコケ観察や十和田湖でのヒメマス釣り体験などの現地視察会を行い、台湾

人旅行者向けの観光コンテンツの企画・磨き上げに取り組めます。

インバウンド勉強会の開催

上記の現地視察会で得た、台湾人旅行者の好みなどの知見やインバウンド対応のノウハウなどを、地元関係者(国、市、観光事業者など)と共有するための勉強会を開催して、地域全体における訪日外国人旅行者の誘客に向けた機運醸成やスキルアップを図ります。

業務にかける思い

十和田湖・奥入瀬溪流は、新緑や紅葉の時期の美しい景観、貴重なコケなどのさまざまな動植物、火山活動によってできた珍しい地形、特徴的な歴史や文化など、訪れる度に新しい魅力が発見

できる場所です。

私は、こうした魅力を世界中に発信し、多くの方々に訪れて楽しんでいただき、また、地域の活性化に貢献したいと強く思っています。そのために、観光コンテンツの開発や、地元の方々と勉強会の開催などに全力で取り組んでいきます。県民の皆さまも、四季折々の魅力にあふれる十和田湖と奥入瀬溪流にぜひお越しください!

◎詳しくは、県庁 HP [上北地域連携部](#)

[Q 検索](#)

上北地域県民局地域連携部 ☎0176-22-8194



神 春花/奥入瀬溪流のコケに魅了された「コケガール」。休日には、多くの友人を現地まで案内して、コケの魅力を力説している。



現地視察会



関係事業者との打ち合わせ

山火事に注意しましょう!

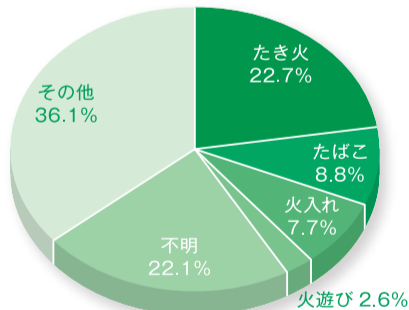
～小さな火 大きな森を 破壊する～

4月10日から6月10日までは「山火事防止運動強調期間」です。県内では4月から5月にかけて山火事が多く発生しており、その原因の多くは、たき火やたばこ火の不始末など、ちょっとした不注意によるものです。



五戸町扇田の森林火災の様子(平成17年5月)

山火事はいったん発生すると、一瞬にして大切な森林を失うだけでなく、その回復には長い年月が必要となります。このため、特に以下のことに注意し、山火事予防を心掛けましょう。



山火事の原因別発生割合(過去5カ年平均)

- ・ 強風時及び乾燥時にはたき火・野焼きをしない
- ・ 枯れ草などがある火災が起こりやすい場所ではたき火をしない
- ・ 火を扱う際はその場を離れず、使用後は完全に消火する
- ・ たばこの吸い殻は必ず消し、絶対に投げ捨てをしない
- ・ 火遊びはしない

春になり暖かさが増して、農作業や山菜採りなど山林やその周辺への出入りが多くなります。私たち一人ひとりが注意して山火事を防ぎ、大切な森林を未来へ引き継ぎましょう。

◎詳しくは、県庁 HP [山火事](#)

[Q 検索](#)

林政課 ☎017-734-9513

平成30年10月1日から青森県の乳幼児はつつ育成事業を拡充します
所得制限の基準を現在の約2倍に引き上げます。
県が市町村に助成する対象児童は
9割程度に拡大します。

県の助成事業の概要

県では、子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを進めるため、市町村が給付した乳幼児医療費の自己負担分に対して2分の1を助成しています。

対象年齢	0歳児～小学校未就学児童
所得制限	あり
対象医療費	入院・通院に係る医療費(入院時食事療養費を除く)
一部負担金	0歳児～3歳児 無し 4歳児～小学校未就学児 入院:1日当たり 500円 通院:1月当たり1,500円

拡充の内容

所得制限基準を約2倍に引き上げ

県では、子どもを産み育てる環境づくりを一層進めるため、お住まいの市町村にかかわらず、一定の受給機会の公平性が確保されるよう、保護者の所得制限基準を現在の約2倍に引き上げます。

扶養人数	現在の基準	扶養人数	新たな基準
0人	2,342千円	0人	5,320千円
1人	2,722千円	1人	5,700千円
2人	3,102千円	2人	6,080千円
3人	3,482千円	3人	6,480千円

乳幼児の9割程度が助成対象へ

これにより、県が助成対象とする乳幼児の割合は9割程度まで拡大されることとなりました。

平成28年実績	新基準
35,902人	53,500人程度
乳幼児の約6割	乳幼児の9割程度

実施時期

市町村に対する助成の拡充は、平成30年10月1日からスタートします。これに伴い、お住まいの市町村によっては新たに対象となる場合もありますので、今後、市町村からの広報・案内にご注目ください。

◎詳しくは、県庁 HP [乳幼児はつつ](#)

[Q 検索](#)

こどもみらい課 ☎017-734-9303



吟烏帽子 - 青森から驚きの酒米誕生す

青森県知事 三村 申吾

「もの凄い酒米が出来た!」と叫びたい思いだ。

青系187号、いまや「青天の霹靂」の名で日本を代表する良食味米を世に放った、県産業技術センターのチームが、またまた驚きの、今度は酒米を送り出した。その名も「吟烏帽子(青系酒195号)」。

醸造特性・栽培特性ともに、その特徴は際立っている。

現在県産酒米として大好評の「華想い」より粒は小さめだが、何より麹菌が中に入り込み易い心白が粒の中心に入り、「華想い」より玄米品質が優れている上に、精米時の割れが少なく高度精米が可能のため、純米酒から大吟醸まで幅広く利用できるという。

要は、粒を削りに削ることで、極め付きの大吟醸酒にチャレンジできるのだ。

栽培において、耐冷性は「極強」で、「華吹雪」「華想い」より3ランクも優れている上に、日照不足や低温下で発生しやすい「いもち病」抵抗性は、「華吹雪」「華想い」より強い。

つまりは、県南の強いヤマセの吹く田んぼで、山田錦に匹敵する(自分としては超える)酒米が作れることになる。

日本酒党を自任する県産業技術センターの渋谷理事長は「この酒米はその名のとおり吟醸酒向きで、酸味がほどよく利き、上品で高級感のあるお酒ができると、太鼓判を押します」と語っている。

恥ずかしながら、自分はほとんど下戸なのだが、某酒蔵の利き酒コンテストでの準優勝をひそやかに誇りとしている(実は自分のように下戸気味の方がよくお酒を利けると講評の時に伺った)。

そこで、試験醸造したお酒を利かせていただいた。

口に含むと同時に、香りが鼻腔を通り抜けるのを感じる。その瞬間、本当にその場で唸ってしまった。実にすっきりしてさわやかで、それなのに馥郁として旨い。またまた「青森から驚きの旨さ(青天の霹靂のキャッチフレーズ)」である。風味、味わい、品格、とにかく抜群だった。

青天の霹靂同様に、丁寧にしっかりと栽培をしていただき、県内の、いや、国内外日本酒好きの皆様を、感激のあまりむせび泣かせたいと戦略を練り始めている。

しかして、青森県民の皆様! どんなに美味しいお酒になったとしても、1日2合まででくれぐれもよろしく願います。

AOMORI information

あomorいんフォメーション

平成30年度青森県職員採用試験のお知らせ

今年度の青森県職員採用試験の日程は次のとおりです。

■大卒程度及び社会人枠採用試験 第1次試験: 6月24日(日)

■短大卒程度及び高卒程度採用試験 第1次試験: 9月23日(日)

採用試験の概要や県職員の仕事内容などを掲載した『平成30年度版』青森県職員採用総合案内は、県庁正面受付などで入手できるほか、ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。私たちと一緒に、青森県の未来を変えていきましょう!

詳しくは、県庁HP [職員採用案内](#) [Q検索](#) 県人事委員会事務局 ☎017-734-9829

統計調査にご協力を 平成30年実施の主な統計調査

統計は、青森県の姿を映す鏡であり、私たちの暮らしを支えるさまざまな行政施策の基礎資料として、とても大切なものです。青森県の未来を支える正確な統計を作るため、統計調査員が事業所や皆様のご自宅に伺って調査をお願いしています。調査員がお伺いした際には、ご協力をお願いします。調査員は身分証明書を携帯しており、統計法で定める守秘義務が課せられています。

平成30年のみ実施(5年周期の調査)

住宅・土地統計調査(10月1日調査期日)

居住する建物の実態、現住居以外に所有している住宅や土地の状況などを調べます

漁業センサス(11月1日調査期日)

漁業の生産構造、就業構造を調べます

毎月・四半期ごと・毎年実施

労働力調査、家計調査、小売物価統計調査、個人企業経済調査、生産動態統計調査、商業動態統計調査、毎月勤労統計調査、工業統計調査、学校基本調査、学校保健統計調査

※これらの他にも、国が指定する多くの重要な統計調査が行われています。

詳しくは、県庁HP [統計](#) [Q検索](#) 統計分析課 ☎017-734-9164~9169

「踏切事故」から身を守ろう!



◎踏切前ではかならず「一旦停止」

左右と踏切前方の安全を確認し、無理な横断は絶対にやめましょう!

◎踏切内で車が閉じ込められても「あわてず前進」

車を前進させてしゃ断かんを押し上げるか、折ってでも脱出!

◎踏切で異常があったら、ためらわずに「非常ボタン」

非常ボタンを押し列車運転士に異常を知らせる⇒踏切看板に表示のフリーダイヤルまで連絡⇒現場に係員が到着するまで線路外に出て安全を確保!



詳しくは、[青い森鉄道 踏切事故防止](#) [Q検索](#) 青い森鉄道株式会社 ☎017-752-0330

むつ湾フェリーが 4月21日(土)から運航を開始します

津軽半島の蟹田港と下北半島の脇野沢港を、わずか1時間で結ぶむつ湾フェリーが、4月21日(土)から1日2往復4便で運航を開始します。利用者の多い5月3日から5月5日までと、8月11日から8月17日までの期間は増便して1日3往復6便で運航します。風光明媚なむつ湾の青い海、津軽半島や下北半島を一望できるむつ湾クルーズの旅はいかがでしょう。

4月下旬から6月下旬にかけては、むつ湾にやってくるイルカの群れと出会えるチャンス。この機会に、陸路では味わうことのできない、むつ湾フェリーの旅を、ぜひお楽しみください。

時刻表		蟹田発	脇野沢着		脇野沢発	蟹田着
4月21日~5月2日、 5月6日~8月10日、 8月18日~11月5日	1便	9:20	10:20	2便	10:50	11:50
	3便	14:00	15:00	4便	15:30	16:30

詳しくは、[むつ湾フェリー 30年度運航](#) [Q検索](#) 交通政策課 ☎017-734-9151

みなさんと県庁を結び 県政インフォメーション

テレビ ■RAB[LINK/青森県](30秒スポット) ■ATV[みんなの県庁](土)16:55~17:00
■RAB[大好き、青森県。](第三日曜日)17:00~17:15 (放送週が変更になることがあります) ■ABA[メッセージ](土)9:30~9:35

ラジオ

■RAB[青森県広報タイム](月)~(木)7:30~7:35
■エフエム青森[あomorい・ふあん](月)~(金)16:55~17:00
■エフエム青森[申吾のほっとチャンネル](第一日曜日)7:00~7:30

新聞

■「広報あomorいけん」
毎月1日・16日
東奥日報・デリー-東北・陸奥新報

■青森県広報広聴課公式Facebook (<https://www.facebook.com/AomoriPref.koho>) ■青森県庁Twitterアカウント(@AomoriPref) ■青森県広報広聴課Twitterアカウント(@aomorist)

編集発行/青森県広報広聴課 ☎017-734-9137

〒030-8570 青森市長島1-1-1/県のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/>
※「県民だよりあomorい」は点字版・録音版も発行しています。ご希望の方は広報広聴課までお知らせください。

この印刷物は527,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.2円です。